

帝人株式会社 ■ 広報・IR部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
●URL <https://www.teijin.co.jp>

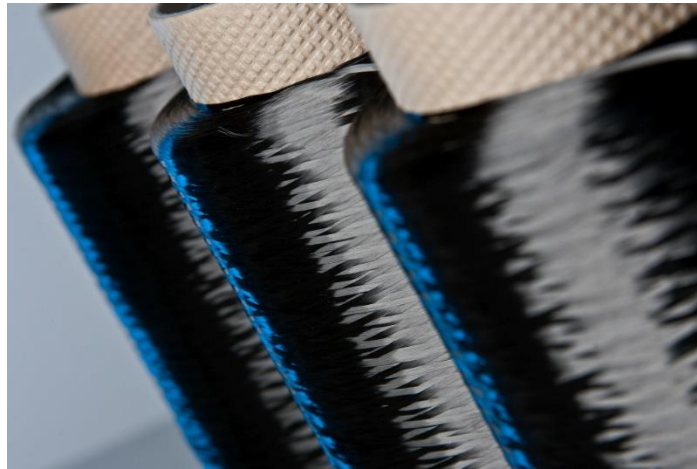
2023年 6月29日

温室効果ガス排出量低減に寄与する製品展開を強化 環境配慮型原料を用いた炭素繊維が国際認証を取得

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）は、このたび、静岡県の子島事業所で生産する炭素繊維「テナックス」ならびにその材料であるポリアクリロニトリル（PAN）について、持続可能な製品の国際認証のひとつである ISCC PLUS 認証（*1）を取得しました。炭素繊維とその材料である PAN が合わせて同認証を取得するのは、世界初のことです。

（*1）ISCC PLUS 認証：国際持続可能性カーボン認証。マスバランス方式によるバイオマスや再生材料など由来する製品について、グローバルなサプライチェーン上で信頼性を管理・担保する国際認証のひとつ。



炭素繊維「テナックス」

1. 背景

- （1）炭素繊維は、低燃費化への寄与が期待される「軽くて強い」素材として幅広い用途で使用されていますが、近年、ライフサイクル全体を通じた温室効果ガス（GHG）の排出量削減へのニーズが高まりを受け、製造工程における環境負荷が課題とされています。
- （2）こうした中、当社は、製造拠点における自家発電設備の燃料を天然ガスに切り替えた他、「テナックス」のフィラメントや中間材料の製造工程で発生するCO₂の排出量を算出し、ライフサイクル全体でのLCA（ライフサイクルアセスメント）を評価の上で関連情報を開示するなど、環境負荷低減に向けた取り組みを進めてきました。

(3) これに加え、環境配慮型原料の使用によって、製造工程における GHG 排出量をさらに低減すべく、環境配慮型原料を用いた「テナックス」の市場展開に向け、国際認証の取得に向けた準備を進めていました。

2. ISCC PLUS 認証を取得した製品について

(1) このたび当社が ISCC PLUS 認証を取得した、三島事業所で生産する PAN ならびに「テナックス」は、バイオマス由来製品の廃棄物や残留物を用いたアクリロニトリル (AN) または循環型の原料を用いた AN を使用し、同認証に基づいたマスバランス方式 (*2) で生産するものです。

(*2) マスバランス方式：原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：バイオマス由来原料）とそうでない原料（例：石油由来原料）を混合させる場合に、特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対し、その特性の割り当てを行う手法。

(2) 原料である AN が従来の石油由来の AN と同等の物性であることから、これを用いて生産する PAN や「テナックス」は石油由来品と同等の物性を有します。そのため、従来品から容易に切り替えることができ、製品のライフサイクル全体における GHG 排出量の削減に貢献することが期待されます。

3. 今後の展開

(1) このたびの認証取得を受け、当社は、2024 年前半までに、石油由来の原料を用いた従来品に加え、同認証に基づいたマスバランス方式での PAN ならびに「テナックス」の生産・販売開始を目指し、準備を進めていきます。

(2) また、環境配慮型の製品の展開を強化すべく、欧米、アジアで生産している炭素繊維およびその関連製品においても ISCC PLUS 認証に向けた検討を進めます。

(3) 帝人グループは、持続可能な社会の実現に向けて、人を中心に考え、「Quality of Life」を向上させる革新的なソリューションを提供していくとともに、事業活動に伴う環境、社会への負の影響が最小限となるよう努力し、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」となることを目指していきます。

* 帝人株式会社三島事業所は、ISCC の最新の規定に則り、ISCC PLUS 要求事項に準拠することを約束し宣言します。

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 広報・IR 部 TEL: (03) 3506-4055